

## CMS機能要件一覧

	項 目	要件
1	1 基本要件等	クライアントPCとして利用するパソコンには、特別なプログラムなどをインストールすることなく、Webブラウザから操作できること
2		ユーザー毎に専用のWebビュー画面(以下「Webビューページ」という。)の作成ページを割り当てること。
3		Webビュー画面作成時は、ウェブアクセシビリティなどの基準に合ったページを、HTML言語を意識することなく、簡易な画面操作で作成できること。
4		登録端末の台数やユーザー数、ページ数やテンプレート数の増加によりライセンス料金が発生しないこと。
5		ユーザー全員に個別のアカウント(ID、パスワード(原則として8桁以上))を付与できること。
6		作成・修正したWebビューページについて、総務省が提供するアクセシビリティ評価ツールmiCheckerでチェックした際にエラーが出ないレベルのチェックが行えること。
7		エラーに対する代替案を表示し、選択すると置き換える機能を有すること。代替案は、管理者が設定できること。
8		管理者が、使用禁止文字や使用禁止語句の設定を行えること。
9		Webビューページ単位でアクセシビリティ上の問題を総合的にチェックできること。アクセシビリティのエラーは、エラー内容及びエラー箇所がわかる形で表示されること。
10		管理者からの各種お知らせ情報をトップページに表示できること(すべてのユーザーで同一のお知らせ表示を閲覧できる想定)。
11		サイトの利用ガイド・著作権・セキュリティ・免責事項・個人情報利用規定などの情報を掲載すること。
12	2 Webビュー画面作成機能	作成者は、権限を有するWebビューページのみを修正できること。
13		管理者は、公開状況(未公開、公開中、公開終了)や作成日、タイトル等、様々な条件でページを検索できること。
14		管理者は、更新日時順、公開状況順など、Webビューページ一覧の並べ替えが自由に行えること。
15		Webビューページ作成時に、一時保存機能を有すること。
16		Webビューページ作成画面にヘルプ機能があること(操作マニュアルへのリンクを想定)。
17		作成したWebビューページをコピーして流用できること。
18		作成したWebビューページに自動で管理用のページ番号を付番できること。
19		テンプレートを選択しWebビューページ作成することで、統一したデザインのWebビューページが作成できること。
20		一般的なワープロソフトに近い操作性での入力、予め決められた項目に入力していくフォーム入力の両方に対応していること。
21		ワープロ的な入力の場合、入力画面を広げることができること。
22		フォーム入力では、CSV形式のファイル取込み及びCSV形式のファイル出力に対応していること。
23		行間隔を、改行を使うことなく設定できること。又は改行での行間設定を適切なhtml/CSSに変換できること。
24		見出しレベル(<h>タグ)及び段落(<p>タグ)が、HTMLの知識のないものでも簡単に指定でき、自動的に設定されること。
25		作成者に<title>要素の内容の入力を強制する機能があること。
26		Webビューページ作成時にページタイトルの重複チェックを自動で行うことができること。
27		Microsoft Word、Excelなどの文章をコピーして、貼り付けて利用できること。貼り付けた時点でアプリケーション固有のタグが削除されること。
28		掲載できる文字列は文字サイズの変更、文字色の変更、文字列に影付き等の見やすくするための装飾が行えること。
29		表を新規で作成できること。その際、行・列の追加及び結合、見出しセルの設定、枠線の設定、幅のパーセント指定などをHTMLソースを編集することなく設定できること。
30		Excleで作成した表をコピー＆ペーストにより取り込めること。その際、アプリケーション固有のタグが削除されること。
31		Excleから取り込んだ(コピー＆ペースト)表を加工できること。その際、行・列の追加及び結合、見出しセルの設定、枠線の設定、幅のパーセント指定などをHTMLソースを編集することなく設定できること。
32		Webビューページ内に画像の掲載・変更・削除が容易にできること。
33		Webビューページ内に画像を自由な位置に配置できること。また、画像に対するテキストの回り込み方を設定できること。
34		画像をページに貼り付ける際にHTML内に説明やリンクを付けられること。
35		画像ファイルの容量を制限できること。
36		貼り付ける画像の容量に制限をかけられること。制限値については、管理者が設定できるか、保守の範囲内で受注者が設定変更できること。また、画像の大きさ(縦横)については、推奨サイズにリサイズして表示させ、その警告を表示できる機能を有すること。
37		画像を登録した後に、掲載画像の拡大・縮小が容易に行えること。(横幅・高さの同じ比率で拡大・縮小できること。)
38		画像にAlt属性を設定できること。

## CMS機能要件一覧

	項 目	要件
39	2 W e b ビ ュ ー 画 面 作 成 機 能	Webビューページ内にYouTubeなどの動画を掲載することが可能であること。
40		Webビューページ内に動画の掲載・変更・削除が容易にできること。
41		7. 動画
42		Webビューページ内に動画を自由な位置に配置できること。
43		mp4等、動画ファイルの掲載が可能であること。その際、拡張子や容量に制限をかけられること。制限の内容は、管理者が設定できること。なお、動画の再生時間は3分以内を想定している。
44	8. リンク	動画ファイルが設定値よりも大きい場合は、自動的にリサイズさせ、その警告を表示できる機能を有すること。
45		Webビューページ内に外部リンクを容易な操作で設定できること。
46		Webビューページ単位でページ内のどの部分にリンク切れがあるか、チェックして表示できること。
47	9. ページ生成	管理者は、対象日を指定して、リンク切れを一括してチェックできること。又は、夜間バッチ等で定期的にリンク切れのチェックを行えること。チェックの結果は、画面上で確認・修正できるか、若しくはCSV等の形式でファイル出力できること。
48		生成されるHTMLには、現在非推奨となっているタグや属性等が含まれないこと。
49	10. カテゴリ管理	HTMLで使用する言語及び文字コードの宣言が自動的に設定されること。
50		管理者は、作成者が作成したWebビューページのカテゴリを追加・変更・削除できること。
51	11. テンプレートページの作成	作成済みのWebビューページを別のカテゴリに移せること。
52		上記までのWebビューページ作成機能に加え、定型的に情報登録を行うことで、決められた位置に決められた内容の情報が表示される定型的なWebビューページ(テンプレートWebビューページ)を作成管理できること。
53		Webビューページ作成を開始するにあたり、最初に作成者が自由に作成するかテンプレートページから作成するか選択することができること。
54		作成者がテンプレートWebビューページを選択した場合は、あらかじめ登録内容、登録方法が決められた各項目にテキストを入力したり画像等をアップロードすることでWebビューページが作成されること。
55		Webビューページ作成画面における登録項目については、管理者が、その登録方法(テキストエリア、画像表示エリア、動画表示エリア)や必須の設定(タイトル、企業名/ロゴなど)、登録内容の制限(最大文字数の制限など)を各項目ごとに自由に設定することが可能で、かつ項目数に上限なく追加更新できること。
56	12. プレビュー	テンプレートWebビューページは同時に何種類でも作成管理できること。
57		作成したWebビューページのメタバース空間上での公開イメージを作成・承認の各段階で、公開前にプレビューできること。
58	13. コンテンツの削除・再利用・保存	Webビューページ作成時に、当該Webビューページからリンクをたどる形で他のページも含めて公開時と同じ状態でプレビューできること。また、容易な操作で作成画面に戻れること。
59		同じWebビューページを更新して再度公開を行う際に、以前公開していたWebビューページを前バージョンとして管理できること。バージョンの上限数は特に指定のない限りないものとし、また以前のバージョンを再利用することも可能であること。
60		作成途中のWebビューページを保存でき、再ログイン後に途中段階から再開できること。
61	14. コンテンツの承認・公開	管理者は、CMSに保存されているすべてのWebビューページを一覧から選択・複写し、再利用できること。
62		データの登録からWebビューページの公開まで、少なくとも2段階(作成者と承認者)の確認フローを有すること。
63		承認ルートは、特定のユーザーに限定した承認ルートを設定できること。
64		承認ルートの変更や追加は、管理者が容易な操作で行えること、かつ追加の場合は数に上限がないこと。
65		承認者による差し戻しができ、差し戻し時にはコメントを付記できること。
66		承認依頼の差し戻し時に、メールでの連絡を自動で行えること。
67		承認依頼の取り下げ機能があること。
68		承認画面で、Webビューページのリンク先も表示できること。
69		作成者・承認者は、Webビューページの状態(作成中、承認待ち、公開中)を一覧で確認できること。
70		承認者による承認を行う際、あらかじめWebビューページについて指定した公開日時・公開終了日時に、自動でメタバース空間上に公開、公開終了する設定ができること。
71		メタバース空間上での公開期間については、年月日のほか、15分単位での時間指定ができること。
72		メタバース空間上での公開期間を会期中のすべての期間とする設定が行えること。
73		メタバース空間上で公開中のページを非公開にすることなく、更新できること。
74		公開中のWebビューページは、いかなる場合でも作成者により公開終了や修正を行えないようにすること。
75		作成者が公開中のWebビューページを修正する場合は、公開中のページを非公開にすることなく、修正できること。修正完了後は、再度承認申請する仕組みを構築すること。
76		公開が終了したWebビューページはCMSサーバ上には残し、複写や再利用ができること。
		管理者は承認フローによらずWebビューページを即時公開・公開終了できること。

## CMS機能要件一覧

	項 目	要件
77	3 管理機能	複数ユーザ(最大100程度を想定)が同時にログインできること。
78		1. ユーザー管理 管理者は、全てのコンテンツの状態(作成中、承認待ち、公開中)を一覧で確認できること。
79		登録できるユーザ情報の数は上限がないこと。
80		2. 権限管理 管理者、承認者、作成者の権限を設け、その権限により操作できる機能を制限できること。
81		管理者、承認者、作成者が各々のユーザIDでログインした場合、各々の権限に応じた画面が表示されること。
82		管理者は、ユーザへの権限設定、ID及びパスワードの付与ができること。
83	4 付加機能	1. アクセシビリティ 公開される全てのWebビューページに文字拡大機能を有すること。
84		公開される全てのWebビューページに文字色・背景色変更機能を有すること。
85		公開される全てのWebビューページにふりがな付加機能を有すること。
86		公開される全てのWebビューページに読み上げ機能を有すること。
87		2. 「いいね」機能 メタバース空間上からタップできる「いいね」ボタンを、Webビューページ画面に表示させる機能を構築し、ユーザーが任意に設定できるようにすること。
88		「いいね」ボタンがタップされた回数、日時や時間帯等を集計する機能があり、その結果をCSVファイルなどでユーザーが保存・出力できること。
89		「いいね」ボタンがタップされた回数、日時や時間帯等の集計結果について、管理者は一括してCSVファイルなどに保存・出力できること。
90	3. その他	作成者が画面を印刷するときは、内容が切れることなく印刷できること。
91		作成者がアップロードした各コンテンツ(画像、動画、テキスト)について、可能な限り、管理者が一括及び個別にダウンロードできること。